



月刊部員新聞

2008年4月
第29号

編集・発行 Unit

指導の対価

各競技種目で、北京オリンピックの代表が続々と決まってきました。競技者のたゆまない努力の賜物であり、関係者にとっては非常に喜ばしいことだと思います。

これがきっかけで、競技を続ける為に必要な費用をサポートしてくれる企業も現れるかもしれません。競技者にとっては願ったり叶ったりです。

一方その競技者を指導していたコーチはどうでしょうか。自分の持つソフトを総動員して指導した事に対する対価はどのようになっているのでしょうか。

海外の一例

今年の3月中旬から4月上旬にかけて、学生スキー連盟からの依頼でカナダの東海岸への遠征合宿に帯同したときに、現地のコーチと親しくなりました。彼と話した時に費用負担の話題になりました。彼は日本という都道府県にあたるアルバータ州のコーチで、体力コーチでもあり、技術コーチでもあるといふことでした。

チームは15〜17歳の女子6名、コーチが2名という構成で、年間を通しての技術指導や体力トレーニング、

宿泊費や移動費を全て含んだ形で、競技者一人あたり25,000カナダドル、日本円で約260万円を支払っているということでした。

日本の場合、都道府県連での指定強化選手の場合、合宿などについても宿泊費などの実費のみの支払い、あるいは全く支払いをしないということも良くあることだと思いますが、それとは全く正反対の考え方でした。

なぜなら彼らは職業としてコーチ業を行っているため、それに対して費用が発生するのは当たり前という考え方なのです。

職業としてのコーチ

日本には立場や資格としてのコーチという方はたくさんいると思います。

部活の面倒を見ている学校の先生はまさに立場としてのコーチになりますし、日体協の資格を持つている方は資格としてのコーチとなると思います。

しかしどちらの場合も職業としてのコーチではありません。指導に失敗したからといってすぐに生活に困ることはないのです。日本でコーチと呼ばれる人で、職業としてのコーチと呼ばれる人は

はどれほどいるのでしょうか。

プロの世界ではもちろんですが、その他にも会社員として会社に所属し、実業団のチームを見ている方など全体から見ると少数なのではないでしょうか。

自己満足？

そのように考えると日本のほとんどのコーチは、指導した対価は、その競技者が勝利をすることによるコーチの自己満足なのではないでしょうか。

しかし残念ながら自己満足だけで実生活を送れるほど、世の中は甘くはありません。言い方は悪いですが、他に収入源を確保して

おきながら、自己満足の対価を得るためにソフトを提供する。

日本の競技者は精神的に甘えがあるとはいわれていますが、コーチにも競技者が勝利できなくても生活の保障があるという甘えの構造が実はあるのではないのでしょうか。

ソフトは無料か？

ソフトの対価として金銭の支払いをすることは、よく考えれば当たり前のことです。それがスポーツとなるとなぜかうやむやになつてしまつています。

コーチは勝利のためのソフトを競技者に提供し、競技者はその対価をコーチに金銭の支払いをする。ソフトに自信のあるコーチはそれを受け取るでしょう。

また対価を払う価値がないと判断されたコーチは自然淘汰され、結果として優れたコーチが残るのではないのでしょうか。

スポーツを行うにあたってできるだけ費用がかからないようにすることは必要ですが、必要な費用まで削つてしまつては、世界で戦える競技者を輩出することは不可能ではないのでしょうか。

職業コーチは競技者から見たら金銭がかかるというデメリットもあります。

それがもうひとつすばらしいメリットがあります。競技者はいつでも契約を解消して、違うコーチに指導を請うことが可能ということです。

公認スポーツ指導者登録数(平成19.10.18現在)

競技別指導者資格	指導員	78,483名
	上級指導員	14,863名
	コーチ	9,732名
	上級コーチ	3,777名
	教師	3,662名
	上級教師	1,786名
合計		112,303名

学校基本調査による学校数(平成19年度)

中学校	10,955校
高等学校	5,313校
大学	756校
合計	17,024校

日本体育協会に加盟している中央競技団体数
58団体(準加盟を含む)

文部科学省、日本体育協会より

Unit代表 澤野 博(さわの ひろし)

日本体育大学卒。社会人経験を経て欧州へ留学。乳酸を中心としてトレーニングを幅広く学ぶ。帰国後、部員となって競技者を支えるという意味で「Unit」を設立。競技種目、競技レベルを問わずトレーニング指導を中心に活動。医療系国家資格の臨床検査技師の資格を持つ異色のトレーニングコーチ。

ご意見、ご要望、仕事依頼、お問い合わせは下記まで。
0422-34-5055 (Fax 兼用)、090-1999-2845 または sawano@team-unit.com